



# 二川宿まち並み通信

第32号 令和5年5月1日  
発行：‘二川宿’まちづくり会  
大岩町東まちづくり会  
大岩中まちづくり会  
協力：豊橋市都市計画課

## 祝

## 本陣・清明屋・駒屋が景観重要建造物に指定！

令和5年3月16日、私たちのまちを代表する歴史的な建物である二川宿本陣・旧旅籠屋「清明屋」・旧商家「駒屋」が、景観重要建造物に指定されました。令和4年に第1号として指定された豊橋市公会堂に引き続き、第2号から第4号の指定となります。

私たちまちづくり会3団体が、景観づくりに取り組んできた二川宿で、3つ同時に指定されたことを大変うれしく、誇りに思います。この3つの建物を二川宿の宝として将来に引き継ぎ、歴史的なまち並み景観づくりの規範にしていきたいと思います。

これを励みに、今後も誇りと愛着のある住みよいまちづくりを続けていきます。



山本会長  
‘二川宿’  
まちづくり会



小杉会長  
大岩町東  
まちづくり会



横田会長  
大岩中  
まちづくり会



### ▲ 二川宿本陣【第2号】

江戸時代後期から本陣を勤めた馬場家の遺構。旧東海道に面する主屋の南には、切妻棧瓦葺きの玄関棟と入母屋棧瓦葺きの書院棟の屋根並みが繋がり、本陣の風格を生み出している。 <市指定史跡>

### ◆ 景観重要建造物とは

歴史・文化的な価値や学術的な価値の高さを問うものではなく、地域の良好な景観形成の核として、その保全と継承を図る観点から指定するものです。

有識者等の意見を聴きながら、市長が景観法に基づき指定するものです。



▲ 景観重要建造物の銘板



### ▲ 旧旅籠屋「清明屋」【第3号】

江戸時代から明治初年まで一般庶民の宿を営んだ倉橋家の遺構。表構えは、漆喰塗の壁面に出格子となっており、東西には袖壁が設けられ、情緒ある景観を生み出している。 <市指定有形文化財>



### ▲ 旧商家「駒屋」【第4号】

江戸時代後期から大正時代に「駒屋」の屋号で商家を営んだ田村家の遺構。敷地西側の瀬古道に沿って、主屋から北倉まで板と漆喰の壁面が連続し、その眺めは二川宿で最も趣のある景観を創り出している。 <市指定有形文化財>

\*この新聞は、旧街道の美しいまち並み景観づくりを進める「二川宿」まちづくり会と「大岩町東まちづくり会」、「大岩中まちづくり会」が発行しています。

# ◆ 歴史的な建物の保全と景観整備が進む！

## ◆ 江戸時代から明治時代に建てられた伝統的な建物の保全整備



左：整備後 上：整備前

旧街道の西の枡形の近くに建つ朝倉邸。切妻平入の伝統的な建物を保全するために、外観と内部の整備が行われました。

専門家の調査により、東側の間口3間が江戸時代に建てられ、西側が明治時代に増築されたと推測され、文化財になり得る大変貴重な建物です。

外観の整備は、当時の職人の高い技術によって造られたものを極力活かし、伝統的な仕上げで修理するよう進められました。

建具や格子は、既存のものをできるだけ残し、漆喰の塗り直しや下見板の張り替えなどを行い、より端正な外観によみがえりました。

照明の色や配置にも配慮し、あたたかく穏やかな夜景の創出にも貢献しています。

【豊橋市まちづくり景観整備助成金を活用】

### ★ 棟梁の望月さまの思い

歴史的な建物が年々失われていくなかで、朝倉邸の保全のお役に立つことができ、大変やりがいがありました。

歴史的な建物には、職人たちの知恵と技が沢山つまっており、工事を進めるなかで新たな発見もあります。

古民家のすばらしさを多くの人に知ってもらい、歴史的なまち並みや伝統建築の保全につなげていけたらと思います。

### ★ お施主の朝倉さんの思い

代々引き継がれてきた歴史あるこの家を、どのように手を入れようかと長い間考えてきましたが、老朽化が進んだため、伝統建築の専門家であり棟梁でもある望月さまに相談し、我が家の歴史も勉強しながら工事を行うことにしました。

街道側の窓面は、あえてサッシに取り替えず、既存の木製建具や格子を残すこととし、古いものを大切にすることにしました。

外観だけでなく、内部にも手を入れ、気持ちよく暮らせる空間に改修しました。

床全体を補強したことで、建物全体が頑丈になりました。また、畳を全て一新したことで、畳の続き間が広く使え、孫が来た時には楽しく遊べそうです。

色々苦労しましたが、思い切って改修し、まち並み景観にも貢献できて大変よかったですと思います。

## ◆ 店じまいしたお豆腐屋さんを、まち並みに調和した住まいに改修



左：整備後  
上：整備前

二川宿のお豆腐屋さんといえば“笹屋さん”と言われ地域に愛され続けてきましたが、10年ほど前に皆に惜しまれながらお店を閉めました。街道沿いの1階は、お店の様子が見えるように全面ガラス戸でした。

今回、住まいとして改修することになり、1階には格子戸の玄関や漆喰調の壁を設け、1・2階の窓には格子を取り付けました。白い壁を取り囲むこげ茶色の柱形や格子が外観を引き締め、宿場町の風情を高めています。

【豊橋市まちづくり景観整備助成金を活用】

### ★ お施主の三原さんの思い

明治35年から豆腐屋を営んで来ましたが、お店を閉めてしまいましたので、住まいとして使いやすくするために、市の助成金を活用して改修を行いました。

二川宿の街道沿いで長くお店を出していたので、歴史あるまち並みにできるだけ馴染むように工事を進めてもらいました。

お店だった外観が住宅らしくなり、玄関や窓に入れた格子の雰囲気とまち並みに合ってとても良いですね。

秋の本陣祭りでは、小物の販売をしていたので、お祭りの開催がとても待ち遠しいです。

### トピック

つるし飾りが  
旧街道を彩る

現在、旧街道沿いでは、端午の節句にちなんだ吊るし飾りが、道行く人々を和ませています。

かわいらしい飾りつけは、つるし飾り愛好会とつるし飾りの会が、沿道の方々のご協力を得て設置しています。

